



連携室だより



Japan Community Health care Organization SENDAI MINAMI Hospital

[病院の理念]

本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として、地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

[病院の基本方針]

- 1.急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。
- 2.地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。
- 3.個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。
- 4.全職員が自己研鑽に励みながら一丸となって地域医療に取り組みます。



ご挨拶

病院長 朝倉 徹

皆様日頃より当院が大変お世話になっております。3月16日深夜に震度6強の大地震が発生しました。津波被害はありませんでしたが、あちこちで道路や建物に大小の被害が発生し東日本大震災以来のライフライン、インフラ被害もありました。当院でも老健との接続通路で雨漏りが発生するなど若干の被害がありました。Covid-19はオミクロン株がBA2への置き換わりの影響で感染は続いていますが、蔓延防止等措置もすべての府県で解除され社会経済活動は徐々に戻ってきているようです。そのような折り当院では3月下旬に職員の感染を発端にある病棟でクラスターを発生することになってしまい、一時病棟を閉鎖する事態となりました。幸いに入院患者の陽性者はすべて当院の感染病棟へ移動することができたため他院への転院はなく、何とか感染対策を徹底し現在は通常診療体制に戻すことができました。オミクロン株もBA2に置き換わっておりより感染力が強くなっています。無症状のキャリアが増えてどこがクラスターの発生源か判明できないことが多いと感じます。

一方で国外では2月末からロシアがウクライナへ武力侵攻し、国際秩序への挑戦ともいえる事態にその戦況はメディア各社で連日報道されています。米国やEUが経済制裁の手段で対抗し日本もロシアからの資源等の輸入を中止するなど共同歩調を取る姿勢を示しています。そのため原油価格の高騰に歯止めがかからなくなり、物価の上昇を招いております。本来であれば危機に強いはずの円が売られ円安となっていることもインフレに拍車をかけています。我々医療業界にも影響は少なくありません。人件費の上昇、原材料費の高騰によって病院経営には打撃となります。また今年は診療報酬の改定がありますが、こちらも我々中小病院にとっては厳しい内容となりました。これまで以上に経営効率を改善する必要があることを痛感しております。

さて前回の挨拶では県立がんセンターと仙台赤十字病院の合併移転の問題を取り上げましたが、仙台市は4病院統合に関する懇話会で県に提言をしておりますが、その場で市医師会長から当院を含めてこの医療圏の他の病院とも意見交換するべきであるとの指摘がありました。県立であるがんセンターが他院と統合して名取市へ移転するのは地域医療のバランスを崩すことになり、曲がりなりにも宮城の地域医療構想を主導している立場の県としてはどう説明するのでしょうか。当院も同構想の中で再検証の対象病院であり病床機能の見直しを求められておりますが、明らかに公平性を欠き同構想を棄損する結果となりはしないでしょうか。

・ ・ ・ ・ 就任のご挨拶 ・ ・ ・ ・



事務長 高田 弘樹



この4月、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院より異動して参りました。

さて当院は、「急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために、適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します」また、「地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら幅広い医療を提供し地域完結型医療を目指します」等を基本理念に、地域の皆様が求めている様々なニーズに応えられるよう病院、介護老人保健施設、健康管理センター及び居宅介護支援センターを運営し、スタッフ一体となり関係の方々との連携を取りながら日々取り組んでおります。これからも、地域医療、地域包括ケアの要となるよう、地域の皆様方の生活を支える担い手として精進してまいります。

まだまだ至らない点もありますが、地域の先生方、地域の住民の皆様から信頼され安心してご利用いただける病院、施設を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長 扇谷 玲子



令和4年4月1日付でJCHO 仙台南病院看護部長として着任いたしました扇谷玲子と申します。前職は厚生労働省東北厚生局で看護指導官として看護師の特定行為研修制度等の医療政策に関わってきました。

そして、これより前はJCHO本部で地域包括ケア推進事業や看護・介護職員の教育に携わってきました。臨床経験は、当組織改組前の全国社会保険協会連合会仙台社会保険病院(現JCHO 仙台病院)に勤務していました。10年ぶりの病院勤務で戸惑うこともございますが、これまでの臨床経験と行政機関や教育機関で学んだことを活かし、地域の皆様に質の高い看護が提供できる人材の育成に努めていきたいと思っております。

また、新型コロナウイルスの流行から2年が過ぎましたがオミクロン株の出現、更なる変異株の出現からまだまだ終息の兆しが見えない状況です。感染予防対策として入館や面会に対する制限が続き、患者さんやご家族の皆さま、地域の医療機関等の関係者の方々にはご不便やご不自由をおかけしております。

このような状況の中ですが、入院されている患者さんにご家族がお話できるようなインターネット面会を実施するなどさまざま工夫しております。患者さんやご家族の思いに寄り添い、地域の皆様からのご相談やご依頼にお応えできるよう感染状況に応じた体制を引き続き整えていきたいと考えております。

看護部では「地域住民の幸福な生活を支える看護」を理念として掲げており、地域の皆様に選ばれ、信頼されて、愛される病院になるよう看護部を運営してまいります。これまで通り、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

・ ・ ・ ・ 退職のご挨拶 ・ ・ ・ ・

看護部長 佐々木 葉子



桜花の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、一連の新型コロナウイルス対策対応にお見舞い申し上げます。

このたび3月31日をもって独立行政法人地域医療機能推進機構仙台南病院を退職いたしました。在職中は公私にわたり一方ならぬご指導とご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。お蔭様をもちまして大過なく職務を務めさせていただくことができました。

今後かわらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。ありがとうございました。



検査受託受付窓口変更のお知らせ



平素よりCT、MRIの検査受託をご活用いただき誠にありがとうございます。
この度、予約状況等の把握やお問い合わせをよりスムーズにすることを目的に、
予約窓口をこれまでの地域連携室から放射線科へと変更致します。

はじめは不慣れな点もあるかと思いますが、放射線科スタッフ一同万全を期して対応致しますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【5/9よりご予約の流れ】 (下線部が変更点)



- ①依頼書を放射線科へ FAX022-306-2175 をお願い致します。
※当日分(至急)につきましては放射線科 TEL022-306-1720 へ
直接ご連絡ください。
- ②予約票を放射線科より FAX 致します。
- ③当日患者さんは1階ロビー受付①番に来院していただきます。
※保険証をご持参いただくよう、患者様にご説明をお願いします。
(来院時間は検査予約時間の30分前になります)
- ④検査終了後、患者さんに検査画像(CD又はフィルム)をお渡し致します。
- ⑤読影依頼がある場合は、読影結果を放射線科より FAX の上、郵送
致します。

☆☆☆ 5/9からのご連絡先 ☆☆☆

放射線科専用：FAX022-306-2175

当日のご依頼、お問い合わせは

放射線科直通：TEL022-306-1720

※検査依頼書も変更となります。(同封 依頼書をご利用ください)

新任医師紹介

外科医長 嶋 健太郎



皆様初めまして、4月よりお世話になっております外科の嶋と申します。

大学卒業後、初期研修を東北大学病院で行いました。2006年から2年間、前身の宮城社会保険病院で外科研修医としてお世話になりました。その後は東北大学第一外科へ入局と同時に大学院に進学し、博士課程を修了しました。2012年に石巻赤十字病院に、2015年からみやぎ県南中核病院で外科医として働き、2021年から国保丸森病院で地域医療を中心に診療を行なっておりました。

地域の皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

糖尿病患者のご紹介について



いつも当院へご紹介いただきまして、ありがとうございます。

糖尿病(教育入院要)の患者様のご紹介につきましては事前に地域連携室へ診療情報提供書のFAXをお願い致します。

通常の外来ではなく、特別枠で受診の調整をさせていただきます。
(通常の外来よりスムーズです)

ご紹介、ご予約は直接地域連携室(直通:022-306-1740)でお受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。



専門外来(ロコモフレイル外来)終了のお知らせ

令和4年3月31日をもって、毎週木曜日(13:00~15:00)行っておりましたロコモフレイル外来は終了となりました。



退職医師のお知らせ：3月31日付 外科部長：原田昭彦



ジェイコー

発行：独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院 (JCHO仙台南病院)

仙台市太白区中田町字前沖 143 番地 (代表) TEL 022-306-1711 FAX 022-306-1712

地域連携室(直通) TEL022-306-1740 FAX022-306-1741